

「児童会役員立候補の決意より」

◇寒い毎が続きます。節分ごろまでは寒さの底、朝晩の冷え込みも格別ですが、だんだんと日脚も伸び、こころなしか日中の日差しの強さも増してきたように思います。「1月行く、2月逃げる、3月去る」のたとえ通り、この時期は特に時のたつのが早く感じられます。学校では年度末に向けてのまとめの時期。新型コロナウイルス感染症の爆発的な拡大の中ですが、感染予防を徹底しながら今年度のまとめをしっかりと行っていきます。保護者の皆様も時節柄どうかお体をご自愛ください。



◇2月4日(金)立春の日に、児童会役員選挙の立会演説会(今年度は放送での演説)と投開票が行われます。貴志南小学校では、児童会役員は4年生から3人、5年生から3人選ばれます。その児童会選挙に、今年度は4年生から7人、5年生から5人が立候補してくれています。とてもうれしく頼もしいことです。選挙のポスターが職員室前と児童玄関に掲示されていますが、子供たちの思いや願いがどのポスターにもしっかりと書かれています。31日には放送のリハーサルもがんばっていました。

◇立候補した子供たちはもちろんですが、選挙の運営に取り組んでくれている選挙管理委員の子供たち、立候補した友達を応援してくれている子供たちも一緒にがんばっています。低学年の子供たちも立候補のポスターをじっくり見えています。教室をまわったり校門で選挙運動をしている姿をどの学年の子供も見えていて応援してくれています。

◇6人の枠に12人の立候補なので、惜しくも当選できない子もできます。どの子もがんばっているのに悔しいくらい結果にはなりますが、仲間に支えられ自分の思いを語りがんばったことはどの子にとってもまたとない経験になります。そして、そうやってがんばっている姿が、「次は自分が立候補したい」と下級生の憧れになり、みんなでよりよい貴志南小学校にしていこうという学校全体の雰囲気を作っていくのだと思います。

◇ところで、立候補した多くの子の「決意」に共通しているのは、「あいさつや笑顔があふれる学校」「仲間はずれのない、みんなが助け合える学校」「行事やイベントを充実させた楽しい学校」ということです。子供たちの前向きな思いがよく伝わってきます。私たち教職員は子供たちのこの思いをしっかりと受け止め支援していかなければと気持ちを新たにしています。ポスターは児童玄関に掲示していますので、もし学校の近くにお越しの際はのぞいてみてあげてください。



梅白しまことに白く新しく (星野立子)

< 学校長 >